

# 混生社会における 共生のあり方

---

佐野 亘

# 自己紹介

---

・所属: 人間・環境学研究科

・専門: 政治学、公共政策

・著書: 佐野亘『公共政策規範』ミネルヴァ書房

佐野亘・松元雅和・大澤津『政策と規範』ミネルヴァ書房

石橋章市朗・佐野亘・土山希実枝・南島和久『公共政策学』ミネルヴァ書房

# 今日のテーマ

---

混生 → 衝突 → 共生

---

多様性にはいかに対処するか？

# 今日の話

---

1. 近代社会における多様性への対処法
2. その限界
3. 合意形成の意義

# 1. 近代における対処法

---

- ・自由(寛容、自由市場)
- ・経済成長
- ・代議制民主主義
- ・国民国家(ナショナリズム)

# 1. 近代における対処法

---

・自由(寛容・自由市場)

←→ 近代以前(身分制、移動の自由の制限、宗教の統一)

← 公平なルール

# 1. 近代における対処法

---

- ・経済成長

「経済成長はすべてを癒す」

# 1. 近代における対処法

---

- ・代議制民主主義
  - ・議員の数
  - ・政党の数

# 1. 近代における対処法

---

- ・国民国家(ナショナリズム)  
「わたしたち・・・人」

## 2. 近代的対処法の限界

---

- ・自由
  - ・自由の衝突
  - ・自由の価値を認めるひと、認めないひと
  - ・自由の捉え方の多様性

## 2. 近代的対処法の限界

---

- ・経済成長の困難
  - ・ゼロサム社会化
  - ・格差社会

## 2. 近代的対処法の限界

---

- ・代議制民主主義の困難
  - ・政治不信
  - ・利害の多様化・複雑化

## 2. 近代的対処法の限界

---

- 「国民国家」をこえて
  - 国際結婚、移民
  - 文化のボーダーレス化

---

どうする??

---

関係者間の合意が重要に

### 3. 合意の意義

---

- ・大きな制度提案、ビジョン、理念も大事だが・・・
- ・システムに頼り切るのではなく、その場その場での関係者の合意も大事

### 3. 合意の意義

---

- 合意？
  - 完全な合意（根拠も結論も同じ）
  - 重なり合う合意（根拠はちがうが結論は同じ）
  - 妥協（互いに譲り合う）
  - 暫定協定（力関係）
  - 手続きについての合意（多数決など）

### 3. 合意の意義

---

- ・混生社会で「すっきり解決」は期待できない
- ・妥協も含めてはばひろく合意の可能性をさぐること
- ・意見がかわったり、中途半端だったりすることを恐れないこと

# 質問

---

個人や集団の利害関係だけでなく、もっと上位(広範)概念(自然、地球)における利害を同時に考えることが必要だと思う(上位概念の利害は皆一致するであろう普遍的価値という前提)。昨今のSDGsの考えなどはそれに近いと思うが、合意形成において機能しているのだろうか？機能していないとすれば何が障壁なのだろうか？

# 質問

---

共生のためには相手の利害を理解し助ける相互扶助の考え方が重要だと思う。現在は国や自治体が税金を活用し間接的に相互扶助を実現しているが、公平公正のルールの下、多様な利害に対応できているとは言えないと思う。もっと直接的な相互扶助の仕組みが実現できないだろうか(クラウドファンディングの一般化?)。

# 質問

---

メタバースは共生社会形成に影響を及ぼしますか？あるいは及ぼすべきですか？ご意見を聞きたいです。国という境界でお互いが干渉しない社会が形成されているのがリアルな世界ですが、メタバースのようなバーチャル世界では境界のない社会が形成し得るし、創生期である今が重要な気がします。